

Digital Controlled Analog Mixer kmix-3204

取扱説明書



目次

1 使用上の注意	-----	2
2 本機の特徴	-----	3
3 本書での表現について	-----	3
4 内部構成	-----	4
5 各部の名称とはたらき	-----	5
6 外部機器との接続	-----	7
7 Kmix-3204 単体で使用する	-----	8
7.1 電源の投入	-----	8
7.2 各チャンネルを操作する	-----	8
7.3 Main Bus を操作する	-----	10
7.4 モード設定を行う	-----	10
8 PC と接続して使用する	-----	13
8.1 kmixer について	-----	13
8.2 PC と接続する	-----	13
8.3 電源の投入について	-----	13
8.4 PC 接続状態での動作について	-----	13
9 出荷状態に戻す	-----	13
10 故障かなと思ったときは	-----	14
11 主な仕様	-----	15

1. 使用上の注意

◇ 電源について◇

- 電源投入・遮断はスピーカ等の発音機器から遠いものから電源を投入し、発音機器に近いものから遮断してください。
- 電源プラグを差し込む時は、電源スイッチをオフにした状態で差し込んでください。
- 雑音を発生する装置（モータ、調光器等）や消費電力の大きな機器とは別のコンセントを使用してください。
- 電源をオフするときは、電源プラグを抜くのではなく、必ず本体の電源スイッチでオフしてください。電源プラグを抜いて電源を遮断すると設定情報が保存されません。
- 電源スイッチをオン後、内部初期設定を行う間、音声信号が出力されません。
- 電源オン・オフ時に「プチッ」というノイズが発生する場合がありますが故障ではありません。

◇ 接続について◇

- 各チャンネルの接続は必ずステレオプラグを使用してください。モノラルプラグを使用すると **Mixout** の出力がグラウンドにショートされてしまうため、発熱増大の原因となります。なお、**Main Bus** 出力はモノラルプラグを使用しても問題ありません。
- 電源を入れたままでのプラグの抜き差しは極力しないでください。
- **Pc** との接続には **LAN** ケーブルを使用しますが、必ず **PC** 接続用 **IF** ボックスを使用してください。 **PC** の **LAN** ポートとは絶対に直接接続しないでください。

◇ 取扱について◇

- チャンネル選択つまみやボリュームつまみを激しく回すと **LED** 表示がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 各種設定用のスイッチに過度の圧力や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- フロント・リアパネルの印刷部は、水に濡れたり、水分やアルコールを含んだ布等で拭くと、にじみ・かすれが発生します。空拭きのみとしてください。
- 本機に異物（硬貨や針金等）、または液体（水、清涼飲料水、酒等）を入れないよう注意してください。

◇ 設置について◇

- 次のような場所に設置して使用すると、故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器のすぐ近く、発熱する機器への積み重ね等）
 - ・ 湿度が極端に高い場所
 - ・ ホコリが非常に多い場所
 - ・ 振動の激しい場所

2. 本機の特徴

- コンパクトサイズ 32ch ミキサー :
kmix-3204 は 2U ラックに収まるコンパクトサイズながら 32ch の本格ミキサーです。各チャンネルおよび Main bus はトーンコントロール (High/Low)、ラウドネス、Mute 機能等があります。
- Mix in / out 機能 :
全てのチャンネルに Mixout 機能があります。メインミキサーのミックスインサートを使ったサブミキサーとして使用できます。
- 2 Main Bus 出力 :
Mix in / out と同時に各チャンネルは 2 つの Main Bus (L / R) に出力できます。
- ゲインコントロール機能 :
各チャンネル毎に入力ゲイン、Mixout ゲイン調整が可能です。また、Main Bus はミックスインゲイン、Main Bus 出力ゲイン調整が可能です。
- フルデジタルコントロール :
各種設定やボリュームコントロールは全てデジタルコントロールで、電源 ON 時、前回電源 OFF 時の状態を復帰します。さらに全チャンネル同一設定や初期値設定等多彩なコントロールが可能です。
- プログラム機能 :
各チャンネル、Main Bus の設定情報をプログラム情報として 40 種類まで内部に記憶できます。記憶された各プログラム情報は任意に読み出してミキサーの状態を復帰できます。さらに、各プログラムやチャンネルには任意の名称 (英数字のみ) を設定できます。
- ロック機能 :
誤って設定を変えてしまわないよう、操作ロック機能があります。
- 集中ディスプレイ :
チャンネルの設定情報を液晶ディスプレイにより集中表示します。液晶ディスプレイはバックライトの明るさやコントラストを調整でき、さらに操作中と操作ロック中でバックライトの明るさを変更することができます。
- PC からの多彩なコントロール :
PC (パソコン) と接続し、専用ソフトウェア (kmixer) を使用することにより、ミキサーの全ての機能を遠隔操作することができます。また、パソコン上にプログラム情報やチャンネル設定情報を記憶することができます。

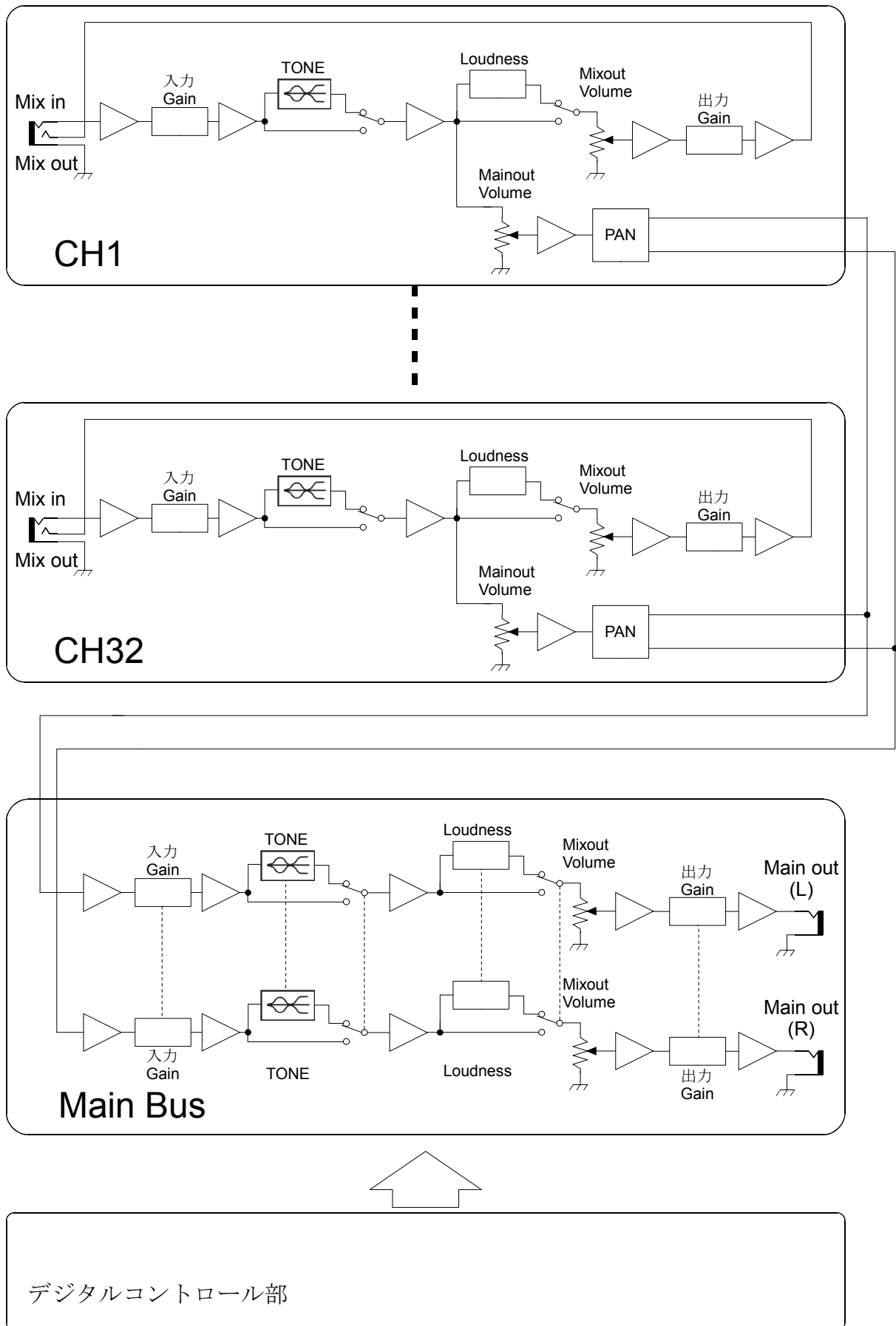
3. 本書での表現について

本書で使用する表現について説明いたします。

Main Bus	各チャンネルをミックスした 2ch (L / R) 出力です。
Main out	各チャンネル Main Bus への出力です。
プログラム	全チャンネルおよび Main bus の設定情報のまとめりです。
プログラムリスト	様々なプログラムの集合です。
Mix in	各チャンネルの入力です。
Mix out	各チャンネルの個別出力です。
モード設定	プログラム情報の設定や LCD ディスプレイ情報等のシステム設定情報です。
Read	本体内部に記憶された設定情報の読み出しです。
Load	PC に保存された背低情報の読み出しです。
Write	ミキサー本体内部のフラッシュメモリへの書き込みです。
save	ミキサー情報の PC への保存です。
Mix Type	Mix out / Main out の ON/OFF の組み合わせです。
操作ロック	誤操作をして値が変わってしまわないように、操作を無視することです。

4. 内部構成

kmix-3204 の内部構成を示します。32CH までのチャンネルコントロール部、Main Bus コントロール部とそれらを制御するデジタルコントロール部で構成されます。
 なお、各 CH のラウドネス機能および出力ゲイン設定は Mixout 出力にのみ有効です。



5. 各部の名称とはたらき

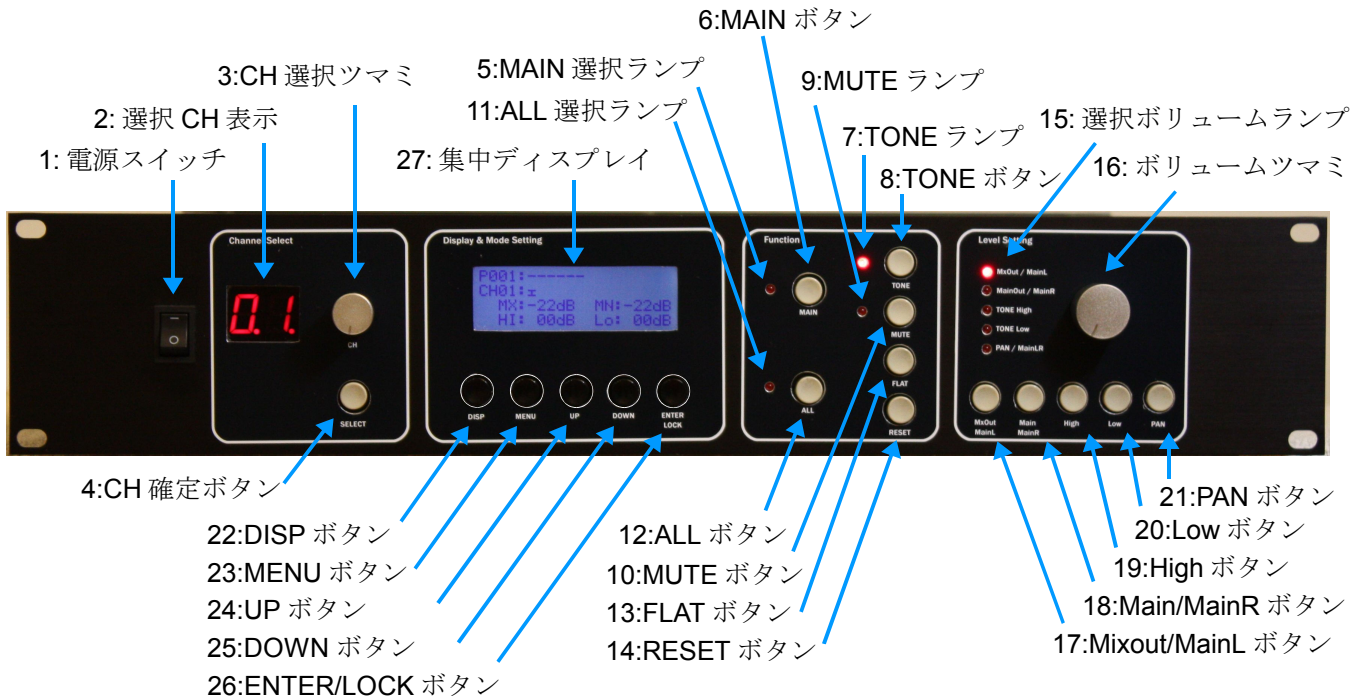
フロントパネル

C: ファンクションコントロール領域

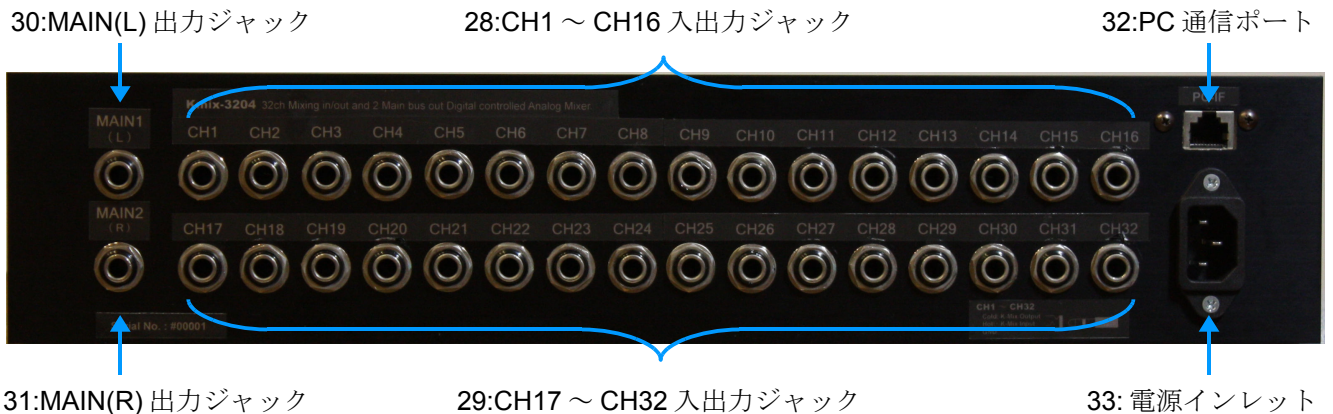
A: CH 選択領域

B: モード設定領域

D: ボリューム設定領域



リアパネル



1: 電源スイッチ

電源オン/オフを行います。電源スイッチのオフ後すぐに電源が切れるのではなく、しばらくしてから本体の電源が落ちますのでご注意ください。

2: 選択 CH 表示

Ch 番号が点灯している時は選択が確定している CH を表示し、点滅している時は選択中の CH を表示します。
内蔵しているプログラム設定情報から値を変更した時は下部のドットが点灯します。

3: CH 選択ツマミ

設定対象の CH を選択します。

4: CH 確定ボタン

選択中の CH を確定します。

5: MAIN 選択ランプ

Main Bus 設定を選択していることを表示します。

6: MAIN 選択ボタン

Main Bus 設定を選択します。

7: TONE ランプ

TONE On 時点灯、TONE OFF 時消灯します。

8:TONE ボタン

TONE ON/OFF を行います。

9:MUTE ランプ

MUTE ON 状態の時に点灯、MUTE OFF 状態で消灯します。

10:MUTE ボタン

MUTE ON / OFF します。

11:ALL 選択ランプ

全CH同一設定 (ALL 設定) を選択しているときに点灯し、CH 個別設定の時に消灯します。

12:ALL ボタン

全CH同一設定モード、CH 個別設定モードを選択します。

13:FLAT ボタン

現在選択中の CH のボリューム値に全 CH の値を合わせます。

14:RESET ボタン

現在選択中の CH および Main Bus の設定値をリセット (初期状態) にします。

15: 選択ボリュームランプ

現在設定対象となっているボリュームを表示します。

16: ボリュームツマミ

設定対象となっているボリュームを変更します。

17:Mixout / MainL ボタン

Ch 設定時は Mixout ボリューム、Main Bus 設定時は Main Bus 左ボリュームを選択します。

18:Main / MainR ボタン

Ch 設定時は Main 出力ボリューム、Main Bus 設定時は Main Bus 右ボリュームを選択します。

19:High ボタン

TONE High (TREBLE) ボリュームを選択します。

20:Low ボタン

TONE Low (Bass) ボリュームを選択します。

21:PAN ボタン

Ch 設定時は PAN ボリューム、Main Bus 設定時は左右同一設定ボリュームを選択します。

22:DISP ボタン

集中ディスプレイの TONE 表示、PAN 表示を切り替えます。

23:MENU ボタン

モード設定用のメニューを表示します。3 回押すと元の表示に戻ります。

24:UP ボタン

モード設定時の値を変更します。

25:DOWN ボタン

モード設定時の値を変更します。

26:ENTER/LOCK ボタン

通常動作時、3 秒以上押し続けると操作ロック状態となり、ボリューム設定等の値が変更できなくなります。再度 3 秒以上押し続けると操作ロック状態を解除できます。

モード設定時は確定ボタンとして動作します。

27: 集中ディスプレイ

各 CH、Main Bus の設定値やプログラム名称、CH 番号、CH 名称を表示します。

モード設定時は各 Menu や設定値を表示します。

28:CH1 ~ CH16 入出力ジャック

CH1 ~ CH16 の入出力ジャックです。ステレオジャックになっており、左チャンネル側が kmix-3204 の入力 (Mixin)、右チャンネル側が kmix-3204 の出力 (Mixout) となります。

29:CH17 ~ CH32 入出力ジャック

CH17 ~ CH32 の入出力ジャックです。接続は CH1 ~ CH16 と同様です。

30:MAIN (L) 出力ジャック

Main Bus 左チャンネル出力です。モノラルジャックです。

31:MAIN (R) 出力ジャック

Main Bus 右チャンネル出力です。モノラルジャックです。

32:PC 通信ポート

PC との通信ポートです。LAN ケーブルを使用しますが、PC の LAN コネクタとは絶対に接続しないでください。

33: 電源インレット

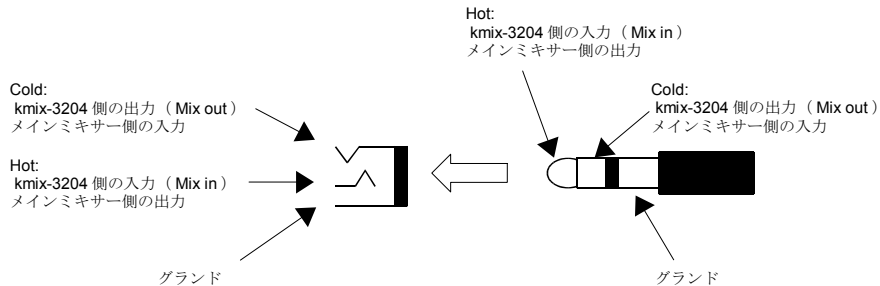
付属の電源ケーブルを接続します。100V 電源入力です。

6. 外部機器との接続

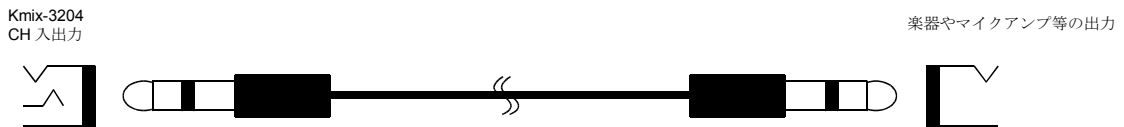
Kmix-3204 と外部機器との接続は各 CH の入出力 (Mix in / Mix out)、Main Bus 出力、PC との接続に大別されます。

各 CH の接続 (Mix in / Mix out)

各 CH の入出力ジャックは下図のような形式となっています。ステレオジャックに入力と出力の両方がありますので、接続には注意してください。



楽器やマイクアンプ等通常のモノラルフォンジャックと接続する場合もステレオジャックを使用してください。kmix-3204 の CH 入出力端子は Mixout を使用しない設定にしても Mixout 端子から音声信号を出力します。モノラルジャックを使用すると出力がグラウンドとショート状態となり、本体の発熱量が増加し、余分な負荷がかかるので、最悪故障の原因となる可能性があります。



サブミキサーとしてメインミキサーの Mix insert を利用して接続する場合は、メインミキサー側の Mix in / Mix out と kmix-3204 の入出力が一致するように注意してください。



Main Bus の接続

Main bus はモノラルフォンジャックです。アンプやメインミキサーに接続してください。

PC の接続

PC との接続には LAN ケーブルを使用しますが、専用の通信ユニットと接続し、LAN ポートとは絶対に接続しないでください。

接続例

PC との接続には LAN ケーブルを使用しますが、専用の通信ユニットと接続し、LAN ポートとは絶対に接続しないでください。

7. kmix-3204 単体で使用する

ここではPCと接続せずに kmix-3204 単体で使用する場合の操作方法について説明いたします。

7.1 電源の投入

外部機器と接続したら、スピーカから遠い機器から順に電源を投入します。kmix-3204 は電源スイッチ ON 後すぐに音声信号は出力されません。起動時は LED の全点灯（ランプチェック）起動メッセージの表示後、CH1→CH32、Main bus の順に音声信号が出力されるようになります。



ランプチェックと起動メッセージの表示



起動完了

7.2 各チャンネルを操作する

(1) チャンネルを選択する

CH 選択つまみを回し、設定したいチャンネルを表示させます。チャンネル表示は点滅状態なので、SELECT ボタンを押して選択チャンネルを確定します。集中ディスプレイのチャンネル番号は選択したチャンネルが表示されます。



(2) Mix out ボリュームを調整する

Level Setting 領域の Mxout ボタンを押し、ボリュームつまみを回します。集中ディスプレイの MX の値が変化します。なお、Mixout OFF 時は Main out と同じ値となり、操作できません。ボリューム値は 0 ~ -92dB/1dB ステップ、-95dB、-∞dB を操作できます。



(3) Main out ボリュームを調整する

Level Setting 領域の Main ボタンを押し、ボリュームつまみを回します。集中ディスプレイの MN の値が変化します。ボリューム値は 0 ~ -92dB/1dB ステップ、-95dB、-∞dB を操作できます。



(4) TONE ボリュームを調整する

Level Setting 領域の High もしくは Low ボタンを押し、ボリュームつまみを回します。集中ディスプレイの HI もしくは Lo の値が変化し、トーンコントロールができます。

Function 領域の TONE ボタンを押して、選択しているチャンネルのトーンコントロールを ON/OFF できます。

TONE コントロールは、1/2, 3/4, 5/6 ... といい組み合わせの 2ch 一組で操作できます。1Ch ずつ単独では操作できません。

設定値は High/Low とも 0 ~ ±10dB / 2dB ステップです。



(5) PANを調整する

Level Setting 領域の PAN ボタンを押し、ボリュームツマミを回します。集中ディスプレイが TONE 表示から PAN 表示に変わり、左右の位置状態が表示されます。なお、PAN は Main Bus 出力に対して有効であり、Mixout に対しては効果がありません。設定値は 0(センター) ±20 です。



(6) MUTE ON/OFF する

Function 領域の MUTE ボタンを押して、選択チャンネルの MUTE を ON/OFF します。ON (ランプ点灯) 状態で消音、OFF (ランプ消灯) 状態で音声出力となります。



(7) レベルをフラットにする

Function 領域の FLAT ボタンを押すと、全てのチャンネルの Mixout および Mainout レベルを現在選択中の値に合わせます。



(8) 設定値をリセットする

Function 領域の RESET ボタンを押すと、選択しているチャンネルおよび Main Bus の設定値をリセットします。リセット後の値は次のようになります。

Main Bus

- 左右出力 : $-\infty$ dB
- Tone High : ± 0 dB
- Tone Low : ± 0 dB

各 CH 設定値

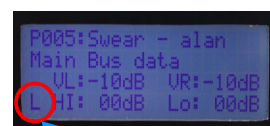
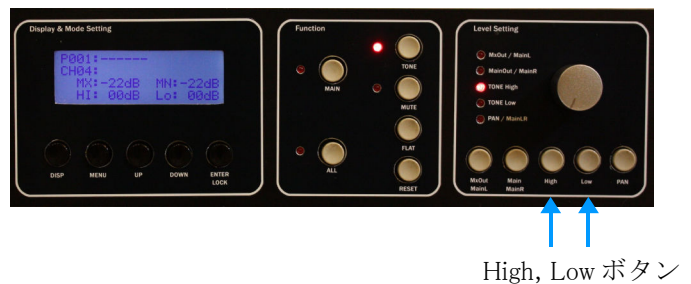
- Mixout : $-\infty$ dB
- Mainout : $-\infty$ dB
- Tone High : ± 0 dB
- Tone Low : ± 0 dB
- PAN : ± 0 (センター)



(9) ラウドネスを ON/OFF する

Level Setting 領域の High ボタンと Low ボタンを同時に押すことによってラウドネス機能を ON/OFF できます。ラウドネス ON 時は集中ディスプレイのトーン設定値を表示している行の左側に「L」が表示されます。チャンネル毎のラウドネスは 2 チャンネル一組で ON/OFF を設定できます。

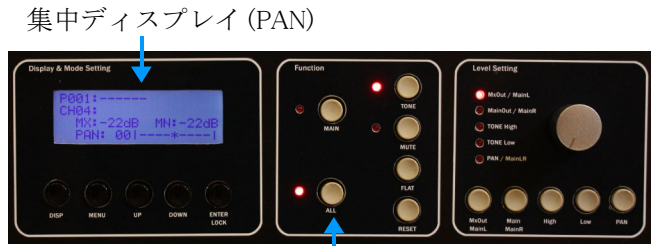
ラウドネスとは、小音量時に人間の聴感上の特性に合わせて低音側と高音側の音量を大きくする機能です。



ラウドネス ON 表示

(10) 全チャンネルを一斉に変更する

Function 領域の ALL ボタンを押し、ランプが点とすると、前項 (2) ~ (6) の操作の対象が全チャンネルになります。集中ディスプレイに表示されていない全てのチャンネルが同じ値になりますので、ご注意ください。



集中ディスプレイ (PAN)

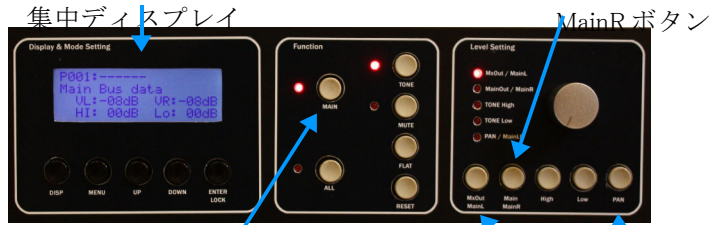
PAN ボタン

7.3 Main Bus を操作する

(1) Main Bus を選択する

Main Bus の設定を行うには、Function 領域の MAIN ボタンを押してください。各 CH と同様に Main bus の設定を行うことができます。

Main Bus 操作の時は、集中ディスプレイが「Main Bus data」となり、表示される値は全て Main Bus の値となります。



集中ディスプレイ

MainR ボタン

MAIN ボタン

PAN ボタン

MainL ボタン

(2) 出力ボリュームを操作する

Main Bus 出力を操作するには MainL ボタン、MainR ボタン、PAN ボタンを使用して選択してボリューム調整を行います。

MainL ボタン : Main Bus 出力の左チャンネル
MainR ボタン : Main Bus 出力の右チャンネル
PAN ボタン : Main bus 出力の左右両方のチャンネル

(3) トーンコントロール

Main Bus 選択状態で 7.2 節 (4) と同様に操作します。

(4) MUTE ON/OFF する

Main Bus 選択状態で 7.2 節 (6) と同様に操作します。

(5) ラウドネスを ON/OFF する

Main Bus 選択状態で 7.2 節 (9) と同様に操作します。

7.4 モード設定を行う

モード設定では、ミキサーの各種基本設定やプログラム情報を設定します。設定できる項目は以下のようになります。

モード設定内容

(1) PGM Name	プログラム名称の設定	(2) CH Name	チャンネル名称の設定
(3) Mix Type	ミキサー動作タイプの設定	(4) Gain	入出力ゲインの設定
(5) Write	プログラム情報の書込み	(6) Load	プログラム情報の読み出し
(7) LCD Contrast	ディスプレイコントラスト設定	(8) LCD Backlight High	通常動作のバックライト設定
(9) LCD Backlight Low	操作 Lock 時のバックライト設定		

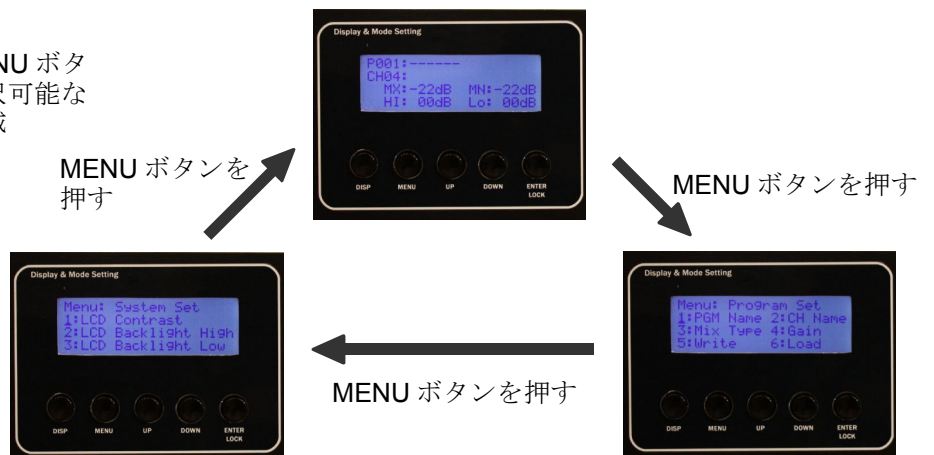
(1) 操作をロックする(誤操作防止)

LOCK ボタンを 3 秒以上長押しすると、操作ロック状態となります。操作ロック状態では各ランプが消灯し、ディスプレイは「LCD Backlight Low」で設定した明るさとなり、ボリューム操作等ができなくなります。再度 LOCK ボタンを 3 秒以上長押しすると復帰します。

(2) 設定メニューを選択する

Display & Mode Setting 領域で MENU ボタンを押します。ディスプレイに選択可能なメニューが表示されカーソルが点滅します。

Menu ボタンを押す度に選択できる Menu が変わり 3 回押すと元にもどります。



MENU ボタンを押す

MENU ボタンを押す

MENU ボタンを押す

(3) プログラム名称を入力する

メニュー表示状態でUP/DOWNボタンで「PGM Name」を選択し、ENTERボタンを押すとプログラム名入力状態になります。確定あるいはキャンセルした後はメニュー表示に戻ります。



プログラム名称の入力

入力方法

文字の選択： ボリュームツマミを回して文字を選択します。入力可能な文字は英数字のみです。
 カーソルの移動： UP/DOWNボタンでカーソルを移動します。
 名称の確定： 全ての文字を入力し終わったらENTERボタンを押して確定します。
 入力のキャンセル： MENUボタンを押して名称入力をキャンセルします。

(4) CH名称を入力する

メニュー表示状態でUP/DOWNボタンで「CH Name」を選択し、ENTERボタンを押すとプログラム名入力状態になります。文字の入力方法は(2)プログラム名称の入力方法と同一です。対象チャンネル番号は集中ディスプレイに表示され、CH選択ツマミを回して選択します。



CH名称の入力

プログラム名称、CH名称を入力してモード設定状態から抜けると以下のように表示されます。(ここではプログラム名称をProgram1、CH04の名称をCHANNELR4としています。)



(5) ミキサー動作タイプを設定する

kmix-3204のMixoutとMain outの出力の組み合わせを設定します。Menuの「3:Mix Type」を選択してENTERボタンを押してください。右の様に表示されます。対象CHはチャンネル選択ツマミを回して選択します。ON/OFFの組み合わせはUPボタン、DOWNボタンを使用して選択します。設定を確定する場合はENTERボタン、キャンセルする場合はMENUボタンを押します。



ミキサー動作タイプの設定

(6) 入出力ゲインを設定する

各チャンネルおよびMain Busの入出力ゲインを設定します。Menuの「4:Gain」を選択してENTERボタンを押してください。

チャンネル選択ツマミを回して対象チャンネルを選択、UPボタン、DOWNボタンで設定値を変更し、ENTERボタンで確定させます。ENTERボタンを押すと次のゲイン設定になります。

ゲイン設定は対象チャンネルの入力ゲイン、出力ゲイン、MainBusの入力ゲイン、出力ゲインを順に設定していきます。なお、チャンネル毎のゲインは2チャンネル一組の設定となり、チャンネル単独で設定することはできません。



入出力ゲインの設定

ゲイン設定可能な値

入力ゲイン： 0dB、-3dB、-6dB、-9dB、-12dB
 出力ゲイン： 0dB、+3dB、+6dB、+9dB、+12dB

(7) プログラムを記憶する

メニュー表示状態で UP/DOWN ボタンで「5:Write」を選択し、ENTER ボタンを押すとプログラム書込みモードになります。

書込みたいプログラム番号は CH 選択ツマミを回して選択します。

書き込むかどうかを UP ボタン、DOWN ボタンで選択します。書き込む場合はカーソルを YES に合わせて ENTER ボタンを押してください。書き込みをキャンセルする場合は、カーソルを NO に合わせて ENTER ボタンを押すか、MENU ボタンを押してください。



プログラムの書込み

(8) プログラムを読み出す

メニュー表示状態で UP/DOWN ボタンで「6:Load」を選択し、ENTER ボタンを押すとプログラム読み出しモードになります。

読み出したいプログラム番号 CH 洗濯ツマミを回して選択します。

書き込まれたプログラムの読み出しプログラム名称が表示されるので、「YES/NO/INIT」を選択して ENTER ボタンを押します。

YES はプログラムの読み出し、NO はキャンセル、INIT はミキサー内部データを初期化 (7.2 節 (8) 設定値のリセットと同様) します。

プログラムが書き込まれていない場合プログラム名称は「Can't find」と表示され、「CANCEL / INIT」のみ選択できます。



プログラムの読み出し

(9) 集中ディスプレイのコントラストを設定する

MENU ボタンを押して「System Set」メニューモードにします。UP/DOWN ボタンで「1:LCD Contrast」を選択し、ENTER ボタンを押します。

コントラストは 0 ~ 10 まで 11 段階設定することができます。また、設定中は、設定値に合わせてコントラストが変化します。



コントラストの設定

(10) バックライト明るさ(通常動作時)を設定する

「System Set」メニューモードで UP/DOWN ボタンを使用して「2:LCD Backlight High」を選択し、ENTER ボタンを押します。明るさは 0(消灯) ~ 5 まで 6 段階設定することができます。また、設定中は、設定値に合わせて明るさが変化します。



バックライト(通常動作時)の設定

(11) バックライト明るさ(ロック時)を設定する

動作時に LOCK ボタンを長押しして操作ロック状態に入ったときの明るさを設定します。

「System Set」メニューモードで UP/DOWN ボタンを使用して「2:LCD Backlight Low」を選択し、ENTER ボタンを押します。明るさは 0(消灯) ~ 5 まで 6 段階設定することができます。また、設定中は、設定値に合わせて明るさが変化します。



バックライト(ロック時)の設定

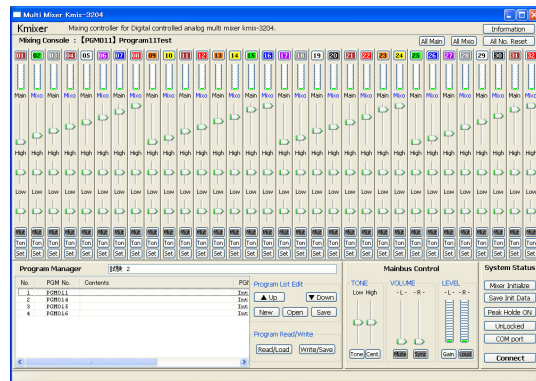
8. PC と接続して使用する

kimix-3204 は PC と接続して各種操作を PC から行うことができます。

8.1 kmixer について

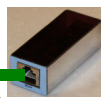
Kmix-3204 は、専用のソフト kmixer を使用してパソコンから全ての機能を操作できます。Kmixer の使い方等については kmixer 取扱説明書をご覧ください。

kmixer



8.2 PC と接続する

PC とは専用のインターフェースボックス (IF ボックス) を使用して USB 接続します。IF ボックスと kmix-3204 とは LAN ケーブルを使用して接続します。IF ボックスとミキサー本体は RS-422/485 の信号携帯を利用していますので、50m 以上離しても正常に通信できます。



LAN ケーブル
(50m 以上可能)



LAN ケーブルはストレートケーブルを使用してください。クロスケーブルは使用できません。

8.3 電源の投入について

kmixer を立ち上げた状態でミキサー本体の電源を投入すると、PC と連動した初期化が始まります。その時に、PC 側から何の操作も行わないと、30 秒経過後に PC が接続されていないものとして通常の状態ですべて再起動します。

8.4 PC 接続状態での動作について

kmixer と接続中でも本体ミキサーは操作できます。本体で操作した結果はパソコンに送信され、kmixer に反映されます。

MENU モードは kmixer と通信中は操作できません。

また、モード設定時に kmixer との通信を開始すると、ボリューム操作ができなくなります。必ずモード設定状態を抜けてから kmixer と接続してください。

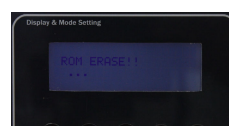
9. 出荷状態に戻す

kimix-3204 内部に記録されたプログラム情報を出荷状態に戻す (全消去) ことができます。

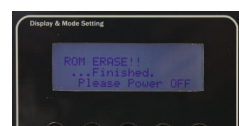
- (1) kmix-3204 の電源を切る
- (2) RESET, MixOut, Main の 3 ボタンを同時に全て押したまま電源を入れると全消去が始まります。
- (3) 「Please Power OFF」が表示されるまで待つ
- (4) kmix-3204 の電源を切る



3つのボタンを同時に押しながら電源を入れる



全消去開始



全消去終了

10. 故障かなと思ったときは

故障かなと思ったときに確かめてください。

(1) Mixout ボリュームが変更できない

Mixout 出力が有効になっているでしょうか。→ 11 ページ 7.4-(5)

Mixout 出力が有効になっていないと Mixout のボリュームは変更できません。Mainout と同一のボリュームとなります。

(2) チャンネルのトーンコントロールが勝手に ON もしくは OFF している

(3) チャンネルのトーンコントロールのボリュームが勝手に変わっている

(4) チャンネルの入力ゲインが勝手に変わっている

(5) チャンネルの出力ゲインが勝手に変わっている

(6) チャンネルのラウドネスが勝手に ON もしくは OFF している

トーンコントロール、入出力ゲイン、ラウドネス機能は 2 チャンネル一組で動作します。

→ 8 ページ 7.2-(4), 9 ページ 7.2-(9), 11 ページ 7.4-(6)

たとえば、CH1 のトーンコントロールを変化させると CH2 も同様に変化します。

(7) トーンコントロールのボリュームを変えても音質が変わらない

トーンコントロールが ON であることを確認してください。

トーンコントロールが OFF の時はボリュームが変化しても音質は変化しません。

(8) 音声が出力されない

Mute OFF であることを確認してください。

Mute ON の時はボリュームを変えても音声は出力されません。

(9) モード設定ができない

PC との通信時はモード設定できません。→ 13 ページ 8.4

PC の kmixer を停止してからモード設定を行ってください。

(10) 電源スイッチを押してもすぐに電源が切れない

電源スイッチを押してもすぐには電源が切れません。

設定情報を内部のメモリに保存している間は電源が切れません。

(11) Main Bus のボリュームや CH のボリュームが勝手に変わってしまう

kmixer を接続している場合は PC からデータを変更できます。

(12) ボリューム操作ができない

(13) ランプが点灯しない

操作ロック中はボリューム操作がはず、ランプも点灯しません。→ 10 ページ 7.4-(1)

操作ロックは集中ディスプレイに [Lock] と表示されますのでご確認ください。

(14) 他のチャンネルのボリューム値が変わってしまう

ALL ボタンを押すと全チャンネル同一に変化します。→ 10 ページ 7.2-(10)

ALL ボタンのランプが消灯していることを確認してください。

(15) kmixer と通信ができない

kmixer との通信には専用の IF ボックスを使用して接続することが必要です。→ 13 ページ 8.2

PC との接続状態を確認してください。

kmixer の通信ポート設定を確認してください（詳細は kmixer 取扱説明書をご覧ください）。

(16) モード設定中に MENU ボタンを押したら一気に MENU モードから抜けてしまった

MENU モード設定中に kmixer と接続すると、モード設定ができなくなるのと同時に

内部的にモード設定状態が解除されます。

その場合は kmixer を停止してから MENU ボタンを押すと一気に抜けてしまいます。

(17) モード設定中に操作ができなくなった

モード設定中に kmixer を接続すると、操作ができなくなります。→ 13 ページ 8.4

その場合は kmix-3204 本体でのボリューム操作ができなくなりますので、必ずモード設定状態を抜けてから kmixer と接続してください。

(18) 集中ディスプレイのバックライトがつかない

モード設定でバックライトの明るさを「0」に設定するとバックライトオフとなります。

バックライトの明るさ設定を確認してください。

(19) プログラムの名称が表示されない

(20) チャンネルの名称が表示されない

kmixer から日本語等の表示できない名称を指定すると本体ディスプレイには正しく表示されません。

本体ディスプレイに正しく表示するためには名称に英数字を使用してください。

11. 主な仕様

Kmix-3204 : 32ch ミキサー

- 入力
32ch アナログ入力
- 出力
32ch アナログ出力
2ch アナログ出力
- 音量調整
チャンネル : 0 ~ -92dB/1dB Step, -∞dB
Main Bus : 0 ~ -92dB/1dB Step, -∞dB
- トーンコントロール
Low : 1.2kHz 0 ~ ±10dB/2dB Step
High : 800Hz 0 ~ ±10dB/2dB Step
- 歪率
0.005% 程度

●PC 通信仕様

通信形態 : RS-232C 38400bps
通信信号 : RS-422
通信距離 : 50m 以上
通信ケーブル : ストレート LAN ケーブル

●最大外形寸法

482(W) x 370(D) x 88(H) mm
EIA-2U ラック・マウント・タイプ

●集中ディスプレイ

20 文字 x 4 行液晶表示 (バックライト付)

●付属品

PC 通信用 IF ボックス
USB ケーブル (1.5m)
LAN ケーブル (10m)
(ストレート UTP ケーブル)

表示可能文字

' ' '!' '"/' '#' '\$' '%' '¥' '(' ')' '*' '+' '-' '0'
'1' '2' '3' '4' '5' '6' '7' '8' '9' ':' ';' '<' '=' '>' '?' '@'
'A' 'B' 'C' 'D' 'E' 'F' 'G' 'H' 'I' 'J' 'K' 'L' 'M' 'N' 'O' 'P'
'Q' 'R' 'S' 'T' 'U' 'V' 'W' 'X' 'Y' 'Z' '[' ']' '^' '¥' '}'
'a' 'b' 'c' 'd' 'e' 'f' 'g' 'h' 'i' 'j' 'k' 'l' 'm' 'n' 'o' 'p'
'q' 'r' 's' 't' 'u' 'v' 'w' 'x' 'y' 'z' '{' '|' '}'